

アンディ・ウォーホル、キース・ヘリングから、今、アート市場を賑わす注目の若手作家まで、「地球」で生まれた色とりどりの現代美術が大集結！

球体のパレット

タグチ・アートコレクション



名和晃平
(PixCell-Deer #51) 2018
courtesy of SCAI THE BATHHOUSE
photo: Nobuhide OHOTE / SANDWICH

草間彌生、オノ・ヨーコ、杉本博司、森村泰昌、川俣正、大竹伸朗、奈良美智、鴻池朋子、村上隆、丸山直文、杉戸洋、塩田千春、照屋勇賢、名和晃平、鈴木ヒラク、浅井裕介、大庭大介、ムン・ギョンウォン&ジョン・ジュンホ、ジン・メイヤーソン、N・S・ハルシャ、ラキブ・ショウ、トゥクラール&タグラ、タル・アール、ミリアム・ハダド、エリアス・サイム、ジュリアン・オビー、マーク・クイン、ダミアン・ハースト、ナイジェル・コーク、リネッテ・イアドム＝ボアキエ、トーマス・ルフ、エリック・シュミット、ジャナイナ・チェツペ、ハンス・オブ・デ・ビーク、セクンディーノ・エルナンデス、ジョアン・マリア・グスマン&ベドロ・バイヴァ、ゲルト&ウーヴェ・トピアス、アンディ・ウォーホル、キース・ヘリング、ロブ・ブルイット、マシュー・バーニー、ウェンディ・ホワイト、エミリオ・ベレス、ベンジャミン・バトラ、ライアン・マッギンレー、ケビン・ワイリー、ウィック・ムニース、大岩オスカル、オスジェメオス、マリナ・レインガンツ、ヴァルダ・カイヴァーノ、ダリオ・エスコバル

GLOBE AS A PALETTE 2019.11.19 tue - 2020.1.13 mon

Contemporary Art from The Taguchi Art Collection

休館日：月曜（1/13は開館）、年末年始（12/29-1/3） 開館時間：午前9時45分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
主催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団） 後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会 企画協力：（株）タグチプロジェクト、アート・オフィス・シオバラ

札幌芸術の森美術館



GLOBE AS A PALETTE Contemporary Art from The Taguchi Art Collection

多種多様な人々が暮らすこの地球。それは、さまざまな「色」が隣り合い、混ざり合う絵の具のパレットのようです。現代美術とは、いわば、この「球体のパレット」から色をすくい取って表現しているものとみなし、本展をそう名付けました。

多彩で鮮度ある現代美術で構成された「タグチ・アートコレクション」は実業家の田口弘氏と長女的美和氏の父娘二代に渡って築かれてきたものです。今では470点を数えるコレクションの中から、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北中南米の16カ国52組による絵画、版画、写真など平面作品55点、彫刻、インスタレーションなど立体作品9点、映像作品2点、総計66点を厳選しました。

東西の宗教説話を混ぜ合わせ、極彩色と金細工で異様な物語を描き出すラ

キブ・ショウ(インド)。エチオピアに集まる廃電子基板をコラージュし、都市景観に見立てたエリマス・サイム(エチオピア)。スキージャンプの高梨沙羅選手をモデルにスポーツと広告の関係をアートで探るウェンディ・ホワイト(アメリカ)。観る者は、迫力と美しさに満ちた造形世界に魅せられながら、作品の生まれた社会的背景やその地特有の文化などにも思いを馳せることでしょう。

そのほか、アンディ・ウォーホルやキース・ヘリング、草間彌生やオノ・ヨーコ、奈良美智、村上隆、北海道ゆかりの川俣正などなじみのある美術家から、世界のアートマーケットを席捲し、今を時めく若手作家に至るまで、珠玉の現代美術の数々を紹介しします。



1. 奈良美智「サイレント・グレイ・イン」1996 ©YOSHITOMO NARA 2. マーク・クイン「世界の始まり」2010 ©Marc Quinn studio
3. ジャナナ・テック「プリマヴェーラ」2006 ©Jannina Tchick 4. オスジェマス「プレイダンスの時間」2015 Courtesy the artist and Lehmann Maupel, New York, Hong Kong, and Seoul. Photo: Max Yarnsey 5. トックワール&タグラ「空中庭園4」2008 ©Thakral & Tagra, Courtesy Nature Morte

イベント >>>>>

■アートコレクター対談 田口美和×宮津大輔

本展出品作所蔵者の田口美和氏と、アートコレクターであり横浜美術大学教授である宮津大輔氏の両名がアートマーケットの仕組みとともに現代美術を楽しむポイントを語ります。

●日時: 11月23日(土・祝) 14:00-15:30

●会場: 札幌芸術の森美術館 展示室

●申込方法: 当日受付(要当日有効の観覧券)

■ギャラリーツアー

担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。

●日時: ①11月30日(土)13:00-13:40 ②12月7日(土)13:00-13:40

●会場: 札幌芸術の森美術館 展示室

●申込方法: 当日受付(要当日有効の観覧券)

コラボ企画 >>>>>

■秋の美術館めぐり

本郷新記念札幌彫刻美術館から札幌芸術の森美術館、札幌市民交流プラザを巡り、展覧会鑑賞(解説付き)と、ランチビュッフェをお楽しみいただくバスツアーです。

●日時: 11月23日(土・祝) 10:00-15:30

●参加費: 4,000円(観覧会鑑賞料、昼食代込み) ※他の割引は適用されません。

●申込: 10月11日(金) 9:30より電話にて受付開始(本郷新記念札幌彫刻美術館 TEL.011-642-5709)

■クラフト工房 × 北海道貴金属工芸組合

「球体のパレット」をイメージしたアクセサリーやジュエリーのワークショップ。詳細は後日ホームページにてご案内します。

球体のパレット展 特別展示 >>>>>

■川俣正と北海道インプログレス

川俣正が「北海道インプログレス」として北海道各所で展開する〈三笠プロジェクト〉、〈岩見沢プロジェクト〉を写真や映像、関連資料で紹介するほか、これまでに世界中で手掛けてきたアートプロジェクトもパネルで紹介しします。

●会場: 札幌芸術の森美術館

B展示室 (入場無料)

協力: 三笠市、北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻

アートマネジメント実務研究室

川俣正
(Iwakimasa project model-1) 2016
©KAWAMURA 2016



観覧料

一般900(720)円、高校・大学生600(480)円、小・中学生400(320)円

※再入場割引: 使用済みのチケット半券をご持参いただくと、当日料金の半額でご入館いただけます。
※()内は前売、または20人以上の団体料金※小学生未満は無料※65歳以上のの方は当日料金が720円(団体580円)になります。年齢のわかるものをご提示ください。※障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくとご本人と付き添いの方1名が無料になります。

◎前売券販売所

道新プレイガイド、チケットポート、NHK文化センター札幌教室、札幌市教育文化会館、札幌市民交流プラザチケットセンター、札幌芸術の森美術館

◎前売券販売期間

9月14日(土)～11月18日(月)

f @sapporoartmuseum mshop_managers @sapporoartmuseum

■地下鉄・バスをご利用の場合

地下鉄南北線「真駒内」駅のバス2番のりばから中央バス乗車、「芸術の森入口」下車(所要時間約14分、約15分間隔で運行)
※2番のりば発のバスはすべて「芸術の森入口」に停まります。

■お車をご利用の場合

札幌市中心部より国道453号線を札幌支笏湖方面に南下(約30分)。
※駐車場(608台収容)は1車両1回につき普通車500円、大型車1,200円。



札幌芸術の森美術館
〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地
TEL.011-591-0090 <https://artpark.or.jp/>

